

地震調査研究推進本部政策委員会
第24回調査観測計画部会議事要旨(案)

1. 日時 平成13年1月17日(水)10時00分～12時30分
2. 場所 永田町第3会議室(永田町合同庁舎3階)
東京都千代田区永田町1-11-39
3. 議題
 - (1) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直しについて
 - (2) その他
4. 配付資料
 - 資料計24 - (1) 地震調査研究推進本部政策委員会
第23回調査観測計画部会議事要旨(案)
 - 資料計24 - (2) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直しに際しての論点
(事務局作成討議用資料)
 - 資料計24 - (3) ケーブル式海底地震計の整備方針
 - 資料計24 - (4) GPS連続観測の今後の進め方について
 - 資料計24 - (5) 海底地殻変動観測の取り組みについて
 - 参考計24 - (1) 平成13年度地震調査研究関係政府予算案等について
 - 参考計24 - (2) 地震予測地図の作成について(第22回本部会資料)
 - 参考計24 - (3) 第17回政策委員会(平成12年8月23日)における論点
メモ(調査観測計画部会関連部分)
5. 出席者

部会長 委員	長谷川 昭 石井 紘 伊藤 久男 入倉孝次郎 岡田 義光 笠原 稔 工藤 一嘉 小宮 學 末廣 潔 西 修二郎 萩原 幸男 本蔵 義守 翠川 三郎 八島 邦夫 事務局 須田 秀志	東北大学大学院理学研究科教授 東京大学地震研究所教授 産業技術総合研究所 地質調査所地震地質部主任研究官 京都大学防災研究所教授 文部科学省防災科学技術研究所 地震調査研究センター長 北海道大学大学院理学研究科教授 東京大学地震研究所助教授 気象庁地震火山部管理課長 海洋科学技術センター深海研究部長 (代理:三ヶ田 均) 国土地理院測地観測センター長 日本大学文理学部教授 東京工業大学理学部長 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 海上保安庁水路部企画課長 文部科学省研究開発局地震調査研究課長
-----------	---	---

中川	勝登	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査研究企画官
森	滋男	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査管理官
吉田	秀保	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震火山専門官
渡部	康一	文部科学省研究開発局地震調査研究課課長補佐
瀨瀬	一起	文部科学省科学技術・学術政策局学術調査官

6．議事概要

(1) 開会

前回議事要旨(案)について、一部修正した後、メーリングリストで部会長及び委員の了解を経て地震調査研究推進本部HPに掲載することとなった。

(2) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直しについて

基盤的調査観測計画(以下「基盤計画」という。)の見直しについて、以下の項目が議論された。

ケーブル式海底地震計による地震観測

海洋科学技術センターからケーブル式海底地震計の整備構想について説明があり、前回に引き続き、新しい技術開発に力点を置いた整備方針が示された。これに対し委員から、主要5海域のうち、未整備の3海域についての具体的な整備計画を示すことが優先されるとの意見が出され、次回の部会でケーブル式海底地震計の整備状況及び今後の計画をより具体的に説明することとなった。

堆積平野における地下構造調査

現在の進捗状況について事務局から説明を行った。

GPS連続観測の今後の進め方について

国土地理院からリアルタイム(常時接続)でのGPSデータの収集及びデータセンター機能の整備等の説明があった。

海底地殻変動観測の取り組みについて

海上保安庁から海底地殻変動観測の取り組みについて説明があり、H12年度補正予算による観測点(海底基準点)の設置点及び解析精度について説明がなされ、議論された。今後の具体的な計画について次回までに資料を用意し、再度検討することとなった。

その他

海域における地形・活断層調査、島弧地殻構造調査、プレート境界付近の地殻構造調査については、次回、各実施機関で資料を用意し、再度検討することとなった。また、次回に、基盤計画では記載が無いが、その後に進捗があった項目についても検討することとなった。

(3) その他

重点的な観測の必要性については、これまでも意見が出されてきたが、基盤計画の見直しについての議論の一環として、重点的な観測について議論を進めることとした。集中的な議論を行うために、ワーキンググループを立ち上げることとされた。ワーキンググループの形態については、部会長と事務局で検討することとなった。

(4) 閉会

基盤計画の見直しの議論については、6月の取りまとめを目指す。次回は2月の開催を予定。日程については、事務局が調整する。